



緑の風

「みんなで作ろう 思いやりと 笑顔と 花いっぱい永原小学校」



【校舎屋上から見た初日の出】

笑門来福

校長 高岡 和也

元日には、永原校区恒例の「初日の出を見る会」が開催され、凜とした冷たい空気の中、永原小学校の屋上から2021年のきれいな初日の出を見ることができました。

たくさんの「笑顔」があふれる素晴らしい一年になることを願いました。

総合的な理解度を試す

～ なぜ、ここに「キツネの小判」があるのか ～

1月16・17日に大学入学共通テストが実施されました。これまで行われていたセンター試験と比べて多くの写真や表、グラフを使った出題形式となり、「思考力や判断力を重視した問題」になったということでした。では、「思考力や判断力を重視した問題」とはどんな問題なのでしょう。

「キツネの小判」探しにまつわる問題を作りましたので考えてみてください。

1年生の子供たちが、イチヨウの木の下に集まって何か一生懸命に探しています。先生が「何を探しているんですか？」とたずねると、「これです。キツネの小判ですよ。」と言って小さな黄褐色の豆のようなものを見せてくれました。「キツネの小判を100個集めると、願いごとがかなうんですよ。」「わたしは、ここでもう100個以上のキツネの小判を見つけています。」と教えてくれました。

「キツネの小判」と呼ばれるものを初めて見た先生は、さっそくインターネットで調べてみました。すると次のことがわかりました。



【キツネの小判】
(右：1円玉)

インターネットで調べてわかったこと

- ① 「キツネの小判」と呼ばれるものは、ハゼの木の実の中にあるタネである。
- ② ハゼの実の部分には脂肪分が多く「ハゼ蠟(ろう)」と呼ばれる「蠟(ろう)」がとれ、和蠟燭(わろうそく)の原料となる。
- ③ ハゼの実は冬場に野鳥が食べるえさとなる。
- ④ 「ハゼ科」の植物なので、肌の弱い人はかぶれるおそれもある。
- ⑤ 100個集めると願い事がかなうという言い伝えもある。



【イチヨウの木にとまる
20羽以上の野鳥】

先生は、インターネットで調べてわかったことと、12月にイチヨウの木の上に野鳥がたくさんとまっていたことから、イチヨウの木の下でたくさんのキツネの小判が見つかるわけが推測できたようです。

問1 先生の推測に役立つ情報は、インターネットで調べてわかったこと①～⑤のうちどれでしょうか。2つ選びましょう。

 と

問2 先生は、どのような推測をしたのか に書きましょう。

※ 解答例は裏面下段にあります。

大学入学共通テストの理科「生物」の問題の傾向と分析について、次のように新聞に書かれていました。

身近な自然や事象に含まれる生物学的に重要なテーマが分野横断的に出題された。単純な知識問題はほとんどなく、実験・観察や資料解析を通じて読解力や考察力、解析力など総合的な理解度を試す内容だった。

以前、ネットポリスの戸高さんが講演で「スマホは最大のカンニングマシンである。」とおっしゃいました。検索すればたくさんの情報がすぐに手に入ります。だからこそ、得た情報を適確に処理し知識・経験をうまくつなぎ合わせる力が大切です。同時にそのことを言葉や文章で表現できることも大切です。

この問題を3年生のSさんは、「動物がハゼの実を食べてフンの中にタネが入っていたんだよ。学校に来る途中に動物のフンが落ちていてタネとか入っているよ。」と答えてくれました。「でも、動物のフンだったら木の下だけでなくあちこちにあるんじゃない。」と言うと「あっ鳥だ!」と気づきました。身近にある自然事象をきちんと見ていて、新たに得た情報と関連づけて考えることができたのです。

いつも子供たちを見守ってくれている永原小の大きなイチヨウの木は、鳥たちにとってもゆっくりと羽を休められる場所なのでしょう。

3学期スタートです!

3学期がスタートしました。今年は新年早々とても冷え込む日が続きましたが、子供たちは元気に毎日登校しています。始業式では、代表児童がそれぞれ新学期に向けての抱負を述べてくれました。

今年も子供たちの成長のために、本校教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



【4年生代表の言葉】



【2年生代表の言葉】



【屋上から望む新年の桜島】



【凍った観察池の水】

門松づくり

新年を迎えるために、おやじの会の方々、地域の方々が集まり、門松の準備をしてくださいました。

朝早くから山に竹を切り出しに行ったり、ウラジロを探しに行ったりしてくださいました。しめ縄も何日も前から編んでくださいました。寒い中での作業、本当にお疲れ様でした。

子供たちも大喜びで、気持ちよく新年を迎えられました。



鬼火焚き

毎年恒例となりました鬼火焚きが、今年も行われました。高々と組まれたやぐらに、今年の干支、丑年生まれの子供、大人たちが点火すると、瞬く間に天にも届く勢いで炎が立ち登りました。

地域の方々もたくさん集まってくださいました。一緒に災厄払いの祈願をしました。

今年も、永原にとってよい一年になることと思います。



タイムカプセル

市の成人式の前日、永原小の卒業生が続々と学校に集まってきました。苦勞して掘り起こしたタイムカプセルの中には、定番のテストやお酒などの他に、親からのお小遣いが現金で入っている人などいいて会場は大いに盛り上がっていました。いつまでも郷土を思う気持ちを大切にしてほしいと思います。



受賞おめでとう

＜県児童作文コンクール＞

【市入選】 『ありがとう、みどちゃん』
2年 猿楽 にこさん

＜椋鳩十文学記念館賞＞

【入選】 『何事もあきらめない』
題材：野じゅうの島
4年 上村 葵々さん

＜税に関する絵はがきコンクール＞

【入選】 5年 茂利 遼平さん

2月の行事予定

- 2日(火) 新一年生入学説明会
あいあい号
- 4日(木) 人権作文発表会
- 6日(土) 心を育む食育講演会



- 12日(金) 授業参観(なわとび大会)
学校保健委員会 PTA専門部会
- 13日(土) 土曜授業
3のつく日のあいさつ運動
- 16日(火) あいあい号



【表面の問題の答え】 問1：①と③

問2：＜解答例＞ ハゼの実を食べた野鳥が、学校のイチヨウの木にとまっている時にフンをしたので、フンの中にあつたハゼのタネの「キツネの小判」がイチヨウの木の下にたくさん落ちていたと推測した。

